

ホタテガイ養殖管理情報

青森県
増養殖研究所
水産振興課
青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所

昨年より成長が良いので、水温に注意しながら分散作業を

1 稚貝の状況について

9月4日～12日に各地先の採苗稚貝を調査しましたので、その結果をお知らせします。各地の測定結果は図1および別表に示したとおりです。

稚貝の平均殻長は西湾で21.4mm、東湾で21.1mmでした。昨年9月12日～22日調査時(それぞれ22.0mm、17.6mm)と比べると、西湾ではほぼ同じ状況ですが、東湾では大きいサイズとなっています。へい死率は、西湾平均で1.7%、東湾平均で0.9%と、昨年(それぞれ1.1%、1.4%)とほぼ同じく、低い値に留まっています。

日間成長量は、久栗坂実験漁場で0.29mm/日、川内実験漁場で0.33mm/日でした。昨年(それぞれ0.30mm/日、0.26mm/日)と比べると、久栗坂実験漁場ではほぼ同じ値ですが、川内実験漁場では高い値となっています。

2 海況

現在(9月16日 午前9時)の陸奥湾の水温は、平館ブイで15.2～23.0、青森ブイで14.9～22.9、東湾ブイで16.5～22.5と、平年並み～やや低めになっています。

3 分散作業の注意事項

1段当りの収容枚数は全湾的に昨年より減少しましたが、全般的にまだ多い状況です。分散が遅れると異常貝が増え、へい死につながりますので、収容枚数が多い所では稚貝のサイズや水温に注意しながら、分散作業に取り掛かってください。なお、潮流が速い時には、分散した稚貝の外套膜(ヒモ)が傷ついてへい死する場合がありますので、そのような時には分散作業を控えるようにしてください。

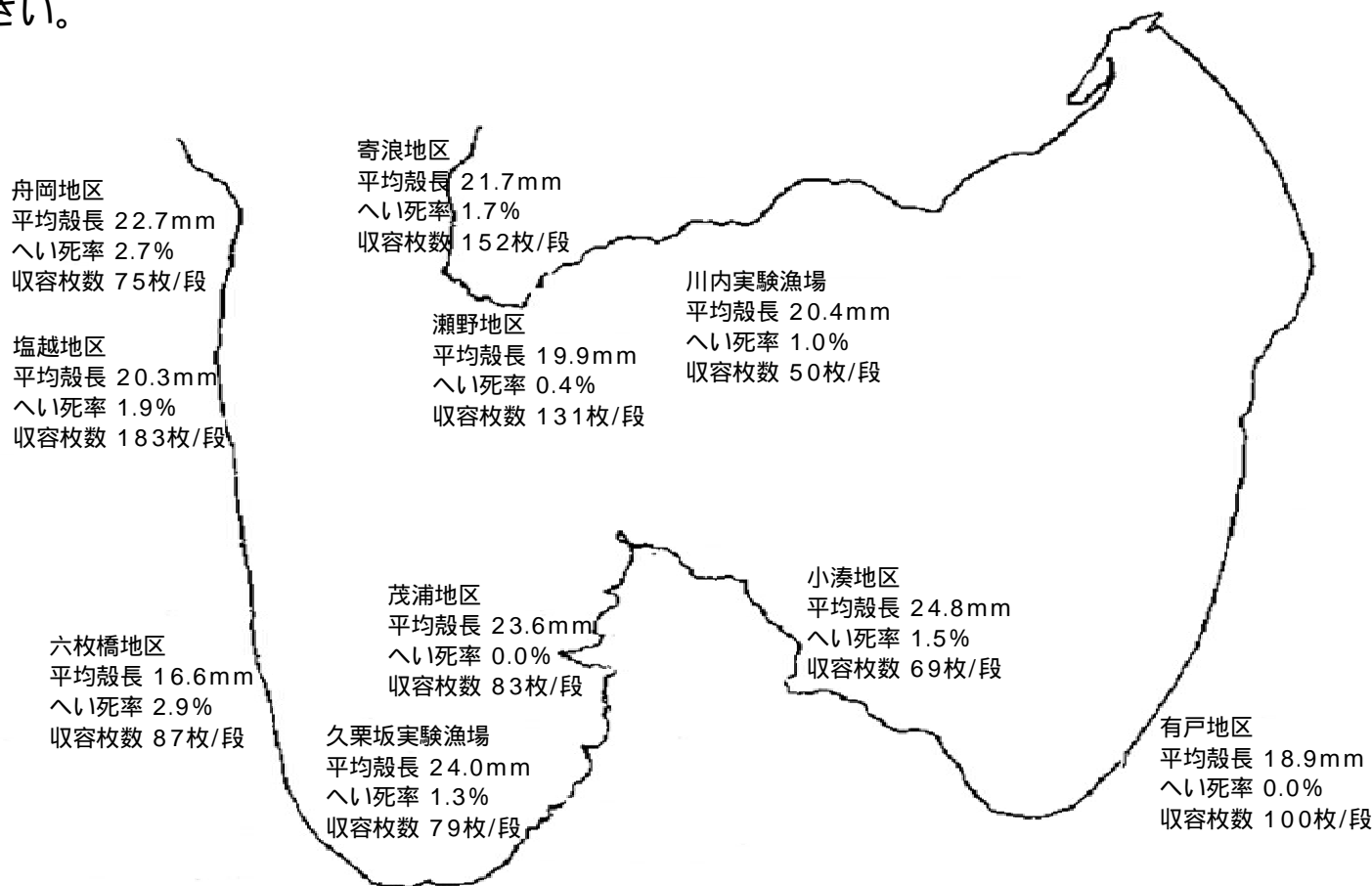


図1 各地先の採苗稚貝の状況

